

【7月】お米配布家庭数：1,836家庭 お米配布人数：3,321名

- ①今回、お米がなかなか手に入らない、高くて購入を悩んでいるというご家庭が何軒もあり、お米をお渡ししました。当日食べる分のお米以外は、その他の人にも少しずつですが小分けしました。お米のご提供本当にみんな喜んでくれて助かっています。
- ②私たちの子ども食堂では、毎回手づくりの温かい食事を提供しながら、地域の子どもたちやそのご家庭とつながる場を大切にしています。特に困難な状況にあるご家庭には、無料での食事提供に加え、日用品や学用品の支援も行っています。
実際に支援を続ける中で「ここに来るとホッとすると涙を浮かべて話してくださった保護者の方や、子どもたちが「また来たい！」と笑顔で帰っていく姿を見るたびに、この活動の意義を強く感じています。
また、地域のボランティアの方々や学生との交流が子どもたちの社会性を育む場にもなっており、学校以外の安心できる居場所としても機能しています。今後は、食の支援だけでなく、学びや体験の場も増やしていきたいと考えています。行政や地域の皆様と連携しながら、困難な状況にあるご家庭の実態に寄り添い、継続的な支援ができる体制を整えていけたらと思っております。
- ③当団体で繋がっているご家庭は、ひとり親、親が仕事がないなど生活に余裕がないご家庭が多く、最近では、DVでこの市に逃げて来たご家庭もあります。ですので、お米は5キロいただいた袋のまま、必要としているご家庭に渡しており大変喜ばれます。お惣菜は、この地域の高齢者向けにしておりますが、みなさんそのまま食べられるととても喜んでくださいます。高齢になると火の扱いが怖いとのことで、そのまま食べられるものは助かるとのことでした。
ご支援者から譲っていただけることで、助かるご家庭がたくさんあります。
いつも、本当にありがとうございます。
- ④初めてフードパントリーを開催しました。いつもの会食には来られないご年配の方々やご家族がお米の配布をととても楽しみにしておられたそうです。この様なご支援、ありがとうございました。
- ⑤出張子ども食堂として豊橋競輪場で開催しました。200名以上の方が来場され、お米やお菓子、野菜を配布しました。また、クレープを100人の子供達に配りました。やはり物価高の影響は大きいです。引き続きよろしくお願い致します
- ⑥今回のご支援品のお米（2kgずつに小分けした物）、お惣菜、レトルトカレー、その他フードドライブへご寄付いただいた物も含めて、フードパントリーとして2日間に分けてお渡ししました。1日目はお天気も良かったのですが、2日目は雨がひどかったので、写真はご自宅へ戻ってから撮って送ってもらいました。シングルファミリーさんからコメントいただきました。「食べ盛りの子供が4人います。お米がまだまだ高いので助かります。サラダとカレーを作るのが仕事終わってからで大変なので助かります。またお願いします」との事でした。とっても嬉しそうだったので、また支援できたら良いなあと思っています。小さなお子様がいるご家族では「カレーが甘口で、この子も喜んで食べました！」とお知らせが届きました。今月もご利用者様の笑顔を間近で見ることができました。ありがとうございます。この暑さで皆さん大変かと思いますが、どうかご自愛ください。ありがとうございました。

- ⑦夏祭りのメイン企画として子ども食堂を実施。その他、ヨーヨー風船釣り、輪投げ、ピザづくり体験、まちかど保健室を実施。お店に集う常連さんたちで、何か地域活動をしたいとの思いで始めたため、みなさん仕事で身につけたスキルをボランティアで発揮していただき、当日参加した子どもたちに色々な職業があることが伝わったのではないかと思います。当日の朝、近くの枇杷島スポーツセンターで引退試合があるという宮中学校（熱田区）3年生が準備を目にして、試合後に立ち寄ってくれました。屋外のイベントだったため、外出中に偶然知って参加してくれました。
- まちかど保健室ブースにおいて、親子でお互いの心音を聴診器で聞き合う様子を見て、生命を感じ合っている姿が印象的でした。
- ⑧今まで三連休中日は来場者が少ない傾向でした。夏の暑さもあり、開場前の待っている方はいつもと比べ、極端に少なかったです。これは大量に余ってしまうと思い、参議院選挙の投票に子どもさん連れで来られた家族に声をかけ、お誘いしたことが功を奏し、予定の120食提供ができました。やれやれでした。今回、投票の帰りに寄って頂いた方々には、お知り合いに宣伝して下さいとお伝えしました。
- ⑨今月も貴重なお米、お惣菜のご支援ありがとうございました。
- 一昨日ニュースにて雨不足で米の不作の可能性という中、細く長く継続して頂けたらとても嬉しいです。今回、子育て21世帯にお米を配布。うち2世帯がひとり親家庭でしたので倍量お渡ししました。そして残りは炊飯し、お弁当のご飯の一部にさせて頂きました。ありがとうございます。頂いたポテマカサラダは、マカロニや野菜、ソーセージでかさ増ししてお弁当に入れました。特にひとり親家庭の親御さんにヒアリングしてみると、困ってみえる状態のご家族も多く、不定期ですが直接LINEにてお声がけして、支援物品をお渡ししております。お米や火等使わないレトルトのものが特に喜ばれます。
- できるだけ色々なご家庭の方とお話しさせて頂き、本当に困っている方には微力ですが特に寄り添いたいと思っております。毎月のご支援があることで、安心して子育て支援させて頂くことができます。ありがとうございます。
- 今月は夏祭りをテーマに来場者の皆さん(大人も)参加でゲームだけでなくクラフト体験もいたしました！
- ⑩今回のテーマは「夏祭り！」。1学期が終わり、夏休みに入ったこどもたちへ、大人気の縁日あそびを5つ用意しました。あめすくい、わなげ、ガラガラポン（福引）、スーパーボールすくい、かき氷。中高生・大学生スケッターさん15名が、各ブースで大活躍してくれました。本当にありがとうございました。
- 〈ブースの様子〉
- あめすくい：お玉で真剣勝負！すくえた分だけもらえる夢のようなコーナー。
- わなげ：本数に応じて景品をゲット！意外と難しくて大盛り上がり！
- ガラガラポン：景品は「マクドナルドお食事券」or「レトルトカレー5袋」、
ポケモンのじゆう帳&シールは全員プレゼント！
- スーパーボールすくい：最高記録はなんと117個！大記録誕生！
- かき氷：中学生チームがふわふわ氷を削ってくれました！大人気の味♪
- 子どもたちの笑顔がいっぱいの1日となりました。「たのしかった〜！」「またやりたい！」という感想がたくさん届き、スタッフ一同癒されました。
- ⑪7月12日土曜日に、子ども食堂及びフーパントリーを開催しました。メニューは夏野菜カレーでした。もうすぐ夏休みに入るお子さんがいる利用者さんは、レトルトカレーのご支援は大変ありがたいと喜んでいました。今月もご支援ありがとうございました。
- ⑫七夕祭りとして、短冊に願い事を書いてもらうイベントや、お米をご寄付頂くことで余裕の出た予算の中からお菓子を準備して、お菓子のつかみ取りなどしました。とても沢山の方に来て頂き

ました。小学校での開催のため、卒業生が同窓会のような形で利用してくれたり、また校長先生
教頭先生も必ず毎回参加してくれるため、在校生も珍しい機会に心を弾ませております♪
高齢の方も「ここに来る日はお勝手やらんで済むから有り難い、1人だと寂しいんだよ」と教えて
くださり、お食事が済んでからもカフェコーナーでゆっくり過ごしていただきました。
お陰様で子どもたちからご高齢の方までの居場所となっている実感をしております。これもご支
援下さった皆様からのご寄付のお陰様です。
いつもありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

- ⑬今回はフードパントリーと子どもの遊び場で、玉転がしゲーム、駄菓子屋、キーホルダーにシールを貼ろう、を実施しました。
初めて参加された学生のボランティアさんが、お母様を亡くされたばかりで色々な思いを持って参加されました。「お母さんが私の事をどのような思いで育ててくれたのか」「これからの自分は
どうしていったら良いのか」等を考えながら親子さんに接していた姿が印象的でした。
今回は夏休み始まったばかりで都合の合わないご家庭も多く利用された方は少なかったです。その分1人1人にお話しができた事と、子どもの遊び場でゆっくりと遊んでいってもらう事ができました。
仕事などで参加できなかったひとり親家庭5軒には、個別で配達してお渡ししました。
皆さん夏休みで昼食を準備するのが大変なのでお米、お惣菜、カレーは嬉しいですとのお話でした。
今回も皆さんの笑顔に会えた事に感謝いたします。
- ⑭傷病手当で生活している家庭の方は、いつ手当が振り込まれるのがわからず、中旬過ぎた頃から不安な生活を送っています。お米を提供しましたところ非常に喜んでもらえました。普段もお腹いっぱい
に食事を摂っていないみたいですので、もっと実践的な支援をしていきたいと思っています。
4人のお子さんをお持ちの家庭の米消費量は1か月30キロほどだそうです。お米5キロを提供
しましたところ非常に喜んでいました。コンスタントなお米の支援を希望しています。
年金暮らしの方も、昼食1食100円で生活しておられるご家庭にも提供しました。
とても喜んでもらえています。
- ⑮バンズサンドを初めて提供して子ども達から喜ばれました。
フードパントリーにお米とレトルトカレーをつけました。ご支援有り難うございます。
- ⑯このところ大人の参加者が多くなり、どうしたものか？と皆で話し合っています。
一人暮らしで皆と一緒に食べたいというかたは大歓迎なのですが…。
- ⑰なるべく手作りで、食育できるような環境で活動しています。
お米は非常にありがたく、参加される方々に喜んでいただいています。
またひとり親世帯へのお米の配布はとても夏休みに入る事もあり、喜んでいただきました。
いつもありがとうございます。
- ⑱シングル家庭の母親が子どもといっしょに子ども食堂に来たとき、普段感じている生きづらさを
素直に他のお母さんたちに話されたところ、ケアマネージャー資格を持つ子ども食堂の利用者
さんが、お母さん自身に発達障害があると気づき、適切なアドバイスをしてくださいました。その
結果、公的支援サービスを受けられるようになりました。
これをきっかけに母親がずいぶん明るくなり、子ども食堂の常連さんになるだけでなく、スタッフ
としても活躍されるようになりました。
- ⑲ヘルプマークをつけた障害を持つ人もきます。障害者が世間と触れ合う機会は少ないと聞きます。
その障害者さんは不器用ながらもお手伝いもするしお子さんの遊び相手もします。
理解者が増えるといいなと思います。

⑳今回は高校生がたくさんボランティアとして参加してくれたので「高校生企画」としていくつかのブースを担当してもらいました。絵本読み聞かせ、しおり作り、かき氷コーナー、ドリンクコーナー、七夕短冊飾りです。笹の葉も飾ることができ七夕の雰囲気も賑やかに食堂を開催できました。

いつものカレーライスや支援頂いた食材での惣菜バイキング、頂いたタルタルソースでチキン南蛮をメニューに追加し、夏らしいスイカなどのフルーツも提供しました。また、射的コーナーやくじ引きなど、いつもと変わったゲームも用意しました。ひとり親家庭には物資や米なども渡しました。



